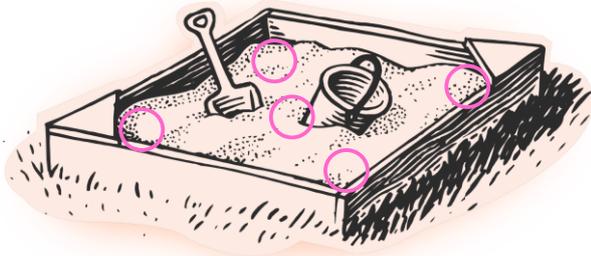


# 砂場の検査

子どもたちにとって、「砂場」は豊かで健全な心身の発達のために大切な遊び場です。子どもたちを「感染」から守り、安心して遊ぶことの出来る安全な環境の整備・管理のための検査と簡単な対策をご紹介します。

**検査項目** 大腸菌群・大腸菌・黄色ブドウ球菌・寄生虫(回虫)卵

**検査方法** 砂場の5ヶ所(四方と中央)を10cmほど掘り、砂を採取します。



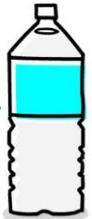
- ・採取は**2、3日晴れの続いた晴れの日**に行います。
- ・滅菌したスコップで採取します。
- ・結果は**1週間ほど**でご報告できます。

## 砂場の消毒方法

### 1 次亜塩素酸ナトリウムを使用

- ①砂場の中から汚物(動物の糞など)を取り除く。
  - ②次亜塩素酸ナトリウム【塩素濃度100~200ppm】を砂場に連続1週間散布。
  - ③その後は月に1回、同様の次亜塩素酸ナトリウムを散布。
- ※目安・・・12平方メートルに対して約25ℓ

200ppm(原液濃度12%)の簡単な作り方  
2ℓのペットボトルへ原液5ml(キャップ1杯分)  
と水を2ℓ入れる



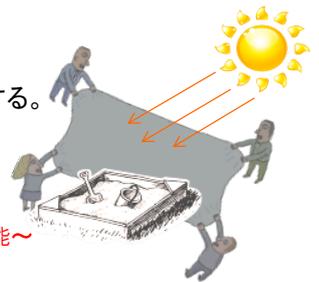
### 2 黒ビニール袋を活用 (日本寄生虫学会推奨)

天気の良い日に行う

- ① 黒のビニール袋を、対象の砂場より大きくなるよう繋ぎ合せ、ビニールシート状にする。
- ② ①で砂場を覆い、中の空気の流通を防ぐように周囲を石や砂で押さえる。
- ③ 一日中そのままを維持する。

～シート内部の温度は60度を超えるので、寄生虫卵や細菌を死滅・減少させることが可能～

- ④数日おいて、再度①～③を繰り返す。



### 3 熱湯を利用

砂を取り出し、熱湯消毒後、乾燥させる。

弊社では、砂場中の(人へ感染する恐れのある)寄生虫卵や、「汚染」の指標となる細菌を対象とし、安全性確認のための検査を行っております。砂場遊び後のうがいや手洗いはもちろんですが、検査を通して現状を把握し、適切な対策を行うことも大切だと考えます。是非ご検討ください。